

# 小学校 実践例

主題名「みづかにすむ いきものたち」  
 教材名「生き物いっぱいしげとみ海がん」(自然愛護)

## 道徳的価値について

- 動植物は、自然環境の中で生きており、それぞれの環境に適応して生活を営んでいる。人間も地球に住む生物の一員であり、環境との関わりなしには生きていけない存在である。
- 自分たちが身近な暮らしの中でできることはなんだろうかと考え、現状の改善に自分たちのできることから少しずつ実際に取り組んでいこうとする態度を育む。

## 児童について

- 特に、身近な自然の中で楽しく遊んだり、自然と親しんだりする活動を行うことが多い。
- 生活科の学習を通して、動物の世話や飼育をしたり、植物の栽培や観察などを根気よく丁寧に行ったりしながら、自然や動植物などと直接触れ合う多くの体験をしている。

## 教材について

汚れた重富海岸を再度人間がきれいな海に戻したという祖父の話聞き、海の生き物を捕まえて喜んでいたゆうきが、捕まえた生き物を海に戻す行動から、自然を大切に守ることについて深く考えることができる教材である。

## ねらい

身近な自然に親しみ、動植物に優しく接しようとする心を育てる。  
 (身近な自然に親しみ、自然を守ろうとする態度を育てる。)

## 指導にあたって

- 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めるために、生き物と接することの楽しさを振り返らせ、自然を大事にしていこうとする心情を高める。
- 祖父の話聞き、捕まえた生き物を海に戻す行動の背景にある気持ちを、役割演技を通して考えることで、ここでの道徳的価値についての理解を深めていけるようにする。
- 終末では、これまでの生活を振り返ることで、これからも身近な暮らしの中で、自然を大切にしていこうとする意欲を高めるようにする。

## 板書



## 実践記録

	主な学習活動と児童の反応	指導上の留意点
導入	1 身近な自然に触れた経験やそのときの心情を話し合う。 ・ アサガオのお世話をがんばったよ。 ・ ウサギをだっこしたよ。 ・ 海に泳ぎに行ったことがある。 2 本時の学習のめあてをつかむ。 しぜんをたいせつにするとはどういうことだろうか。	○ 自然に触れ合った経験やそのときの心情を想起させるために、海や川などで遊んだ経験を話し合う。 ○ 自然にふれあった経験を想起させることで、問題意識を高めさせる。
展開	3 教材に出てくる重富海岸について知る。 4 教材文を読み、自然を大切にすることについて話し合う。 (1) ゆうきが、かにや貝を捕まえたときの気持ちを考える。 ・ このかに、小さくてかわいいな。 ・ もっとつかまえたいな。 ・ おうちにつれてかえりたいな。 (2) 捕まえた生き物を干潟に戻すとき、ゆうきは何とささやいたのかを役割演技を通して考える。 ・ きれいな海でもっと大きくなってね。 ・ きれいな海にもどってよかったね。 ・ スナモグリくん、おそうじががんばってね。 ・ きみたちのすみかをこれからもきれいにするからね。 (3) ゆうきの気持ちの変化を通して、自然を大切にすることはどういうことかを考える。 楽しい! + 海のことを考えている。	○ 重富海岸を身近に感じさせるために、重富海岸の写真を提示する。 ○ (2)との気持ちの変化に気付かせるために、かにや貝を捕まえたときの気持ちを考える。 ※ 2年生はワークシートに書く。 ○ 生き物を干潟に戻すときのゆうきの心情に迫るために役割演技をさせる。 ○ 道徳的価値の理解を深めさせるために、教師がおじいさん役をし、問い返しをする。 ※ 2年生は、役割演技を通して考えたことをワークシートに書く。 ○ 自然を守ろうとする気持ちが加わったことを視覚的にとらえさせるように、板書を工夫する。
終末	5 自分の生活を振り返らせ、自然を大切にできた経験を思い出させる。 ・ アサガオを大切に育ててきた。 ・ 落ちていたゴミを拾った。 6 教師の話聞く。	○ 自然を大切にできた経験を振り返ることで、これからも自然を大切にしていこうとする意欲を高める。 ○ 課題意識を高める話をする。

## 実践を振り返って

### 【成果】

- 導入で、生活科で学習した様子の写真を活用したことで、児童に主題に関わる問題意識を持たせることができた。
- 重富海岸の題材を扱うことで、「行ったことがある」などの反応があり、身近なこととして考えることができた。
- 紙芝居として、資料を読み聞かせたことで、子供たちが興味をもって話を聞いていた。
- 展開では、主人公の行動を役割演技させたことで、児童が自分との関わりで道徳的価値を理解できたり、多面的・多角的に考えたりする場の設定ができた。

### 【課題】

- 生き物を海に戻す役割演技だったため、生命尊重の価値に偏りやすい。主題の「自然愛護」に迫らせるような問い返しをするとよい。